



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

新型コロナウイルスの感染防止対策のため、3月の観察会は中止しました。

日時 2020年3月8日(日)9:30-11:00(雨)

過去1年間にこの観察会に参加された方には、電話又はメールで中止の連絡をしましたが、それ以外の参加者があるといけないので、当日、いつもどおりに集合場所に出かけました。

138タワーや休憩所など屋内利用施設が休館のうえ、朝から雨ときて、駐車場はガラガラで園内に人影はほとんどありませんでした。結局、観察会には誰も来ませんでしたが、せっかくなのでいつものコースを回ってきました。

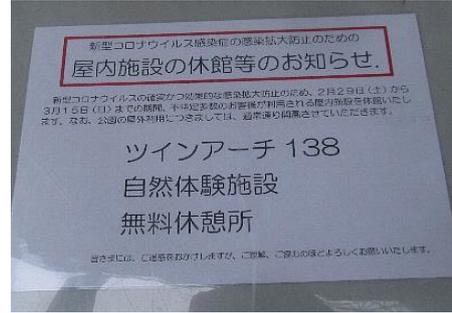
暖かい日が続いたせいか、ハクモクレン、ベニバスマモ、トサミズキ、サンシュユ、ヒメウスなどが咲き始めていました。アメリカハナノキやコブシの蕾も膨らみ、ソメイヨシノの枝も何となくピンクがかって、開花が近いことが感じられます。

動物では雨のため昆虫は飛びませんでしたが、鳥の群がたくさん見られました。川原では20から50羽程のツグミの群が何カ所かの芝生の上にはいました。園内のエノキの樹には100羽程のシメの群がいて、地上に降りたり、他の樹に移動したりと動き回っていました。ツグミやシメは北帰りに備えて集まってきたのでしょう。ウグイスやシジュウカラは轉りを始めていて、春らしい気配が感じられました。

4月から6月までの観察会のため、公園使用許可申請書を提出しに管理事務所に立ち寄りしました。とりあえず、申請書は受け付けてもらえましたが、新型コロナウイルス対策の一環で、当面は許可書の発行事務を見合わせているとのことでした。

来月には花も虫も、もっと多く見られると思うのですが、新型コロナウイルスの流行状況によっては観察会が開けなくなることもありそうです。(報告：齋竹)

<その他観察できたもの> 鳥：ダイサギ、キジバト、ヒヨドリ、モズ、コゲラ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、シジュウカラ、エナガ、アオジ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、虫：ヨコツナサシガメ 花：ニホンタンポポ、ホトケノザ、タネツケバナ、ミチタネツケバナ、ミヤマウグイスカグラ、シキザクラ、ウメ、ユキヤナギ、ボケ、ヤブツバキ、ネコヤナギ



(休館のおしらせ)



(いつもは混む駐車場もガラガラ)



(川原の芝生で群れていたツグミ)



トサミズキの花



桜より早く咲くベニバスマモ



鮮やかな黄色のサンシュユ



咲き始めたヒメウス